

久御山町
第2期産業振興計画
アクションプラン

令和3年11月策定

令和4年12月更新

令和6年2月更新

久御山町

目次

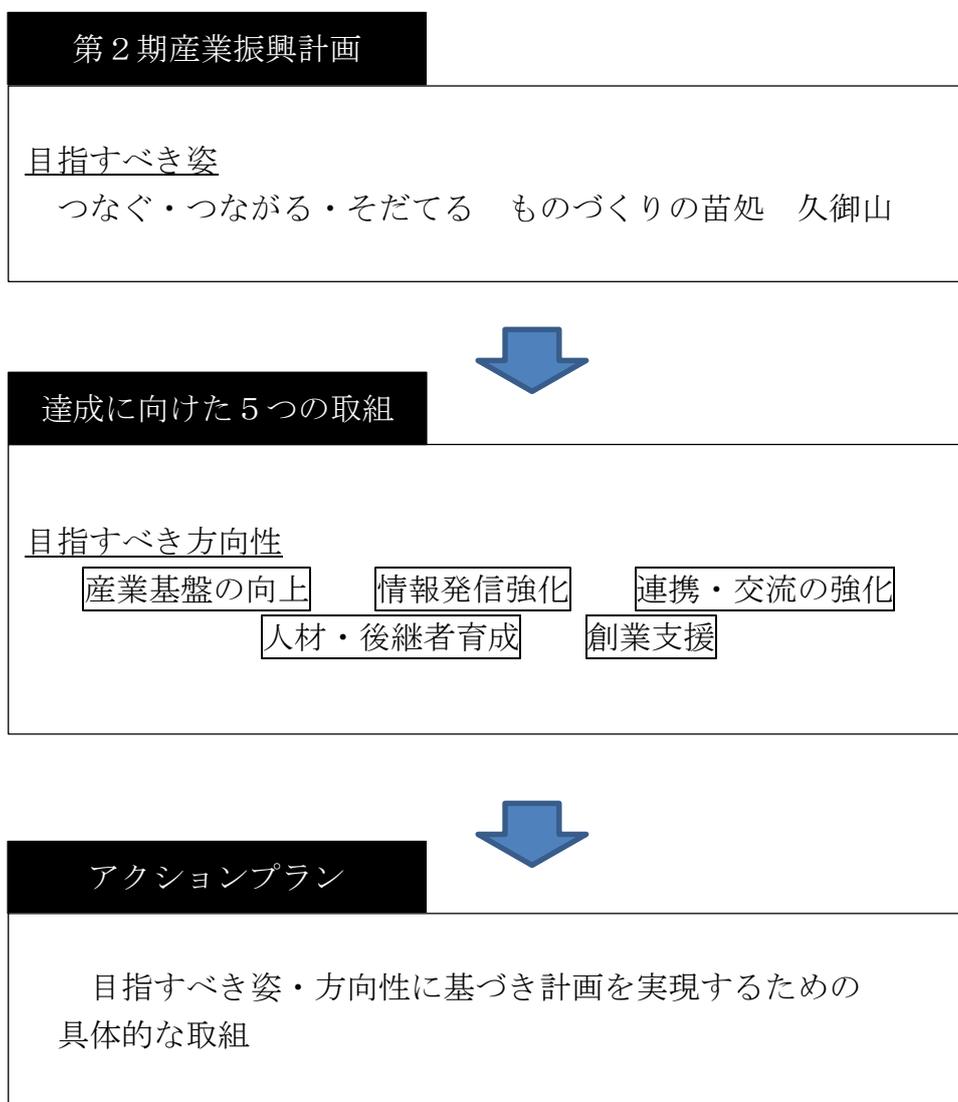
1	趣旨	1
2	位置付け	1
3	計画期間	2
4	産業振興計画の推進体制	2
5	アクションプラン	3
6	産業振興プロジェクト会議・産業振興ワーキングチーム会議	18

1 趣旨

本町では、産業の活性化を図るため「つなぐ・つながる・そだてる ものづくりの苗処 久御山」を産業振興の目指すべき姿とし、令和2年3月に久御山町第2期産業振興計画を策定しました。

本計画に掲げた方向性を実現するため、計画期間中に実施する具体的な施策を整理するとともに、進捗状況を管理するためのツールとしてアクションプランを策定します。

2 位置付け



3 計画期間

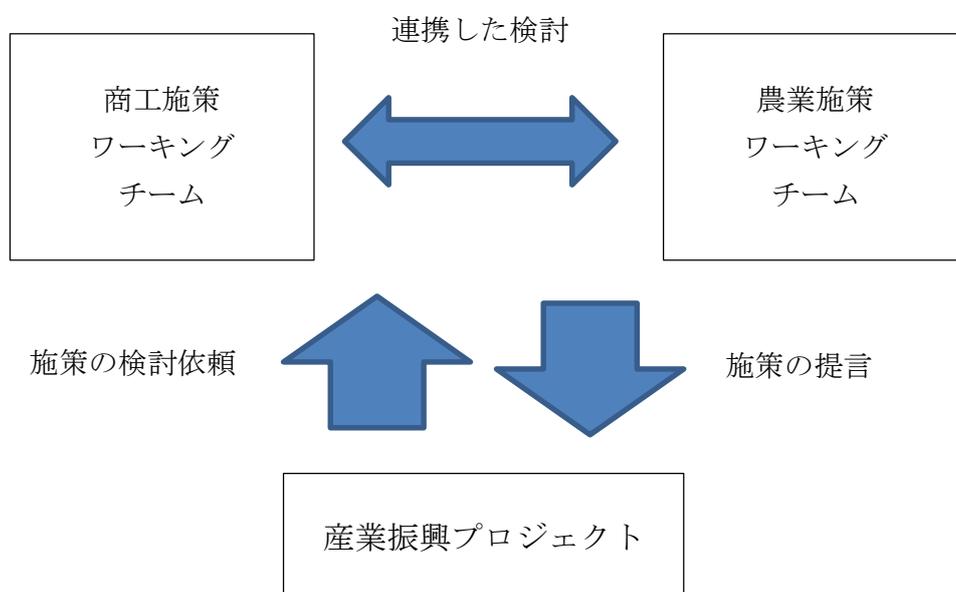
上位計画である第2期産業振興計画の最終目標年次と合わせ、目標年次は令和6年度までとします。

					(年度)
	令和2	3	4	5	6
第2期産業振興計画	▶				
アクションプラン		▶			

4 産業振興計画の推進体制

本計画に掲げた方向性を実現するため、産業支援機関や金融機関、京都府、有識者等の関係者によって構成する産業振興プロジェクトを令和3年6月に設置しました。アクションプランによる具体的な計画の推進を図るため、商工施策と農業施策それぞれのワーキングチームを組織しアクションプランについて毎年議論を重ね、計画の進捗管理やその時の状況に応じたプランにブラッシュアップします。

●推進体制のイメージ図



5 アクションプラン

達成に向けた5つの取組ごとに、目指すべき姿・方向性に基づき、具体的な施策を実施します。

- (1) 産業基盤の向上
- (2) 情報発信強化
- (3) 連携・交流の強化
- (4) 人材・後継者育成
- (5) 創業支援

久御山町第2期産業振興計画 アクションプラン更新

(1) 産業基盤の向上

KPI (重要業績指標)	当初(令和2年度)	実績(令和4年度)	目標年(令和6年度)
クロスピアくみやまのバスターミナル利用者数	273,590人	257,075件	300,000人
中核的担い手への農地の集約率	41.1%	52.4%	45.0%
企業立地マッチング情報提供件数	4件	4件	10件

産業振興計画	アクションプラン	R2	R3	R4	R5	R6	令和4年度の取組・課題	令和4年度の実績	令和5年度の取組・課題	
土地										
新たな産業用地の確保										
【新規】 町の産業の活性化を図るための新市街地「みなくるタウン」の整備の促進 (庁内連携)	市田・佐古・林地区で、産業活動の活性化や住宅地の形成を推進するため、産業立地促進ゾーン及び住街区促進ゾーンを形成し、新市街地「みなくるタウン」として整備を進める。			組合設立			市街化編入・ 企業立地	【取組】 第1期整備地区の土地区画整理準備組合や、第2期整備地区や住街区促進ゾーンの地権者組織の設立、食品関連企業を中心に企業誘致を進める。 【課題】 実際に当該地で事業者が操業するまでには、相当の時間を要する。	【実績】 ・みなくるタウン第1期整備地区については、土地区画整理準備組合を設立した。また、第2期整備地区や住街区促進ゾーンについては、地権者組織を設立した。	【取組】 みなくるタウン第1期整備地区については、土地区画整理事業にかかる組合の設立認可に向け、事業計画の作成を行い、第2期整備地区や住街区促進ゾーンについては、事業化検討パートナーを選定し、次年度の準備組合設立に向け事業を進める。また、みなくるタウンのコンセプトに基づき、食品関連企業を中心として企業誘致を進める。 【課題】 事業は着々と進んでいるが、当該地で事業者が実際に操業するまでには、ある程度の時間が必要。
<継続> 農地集積コーディネーターによる中核的担い手への集約による農地の確保及び有効活用	農地集積コーディネーターのもとで、農地をより効率的に活用してもらうために、中核的担い手への集約を進め、安定的な農業経営ができるよう必要な農地の確保及び有効活用を推進する。						農地の集約化・有効活用	【取組】 随時、農業者からの情報収集を行い、売り手・買い手の仲介を行う。 【課題】 近年、集約化が進んでいることから、今後大規模な集約化は望めない。	【実績】 ・農地集積コーディネーターによる仲介	【取組】 随時、農業者からの情報収集を行い、売り手・買い手の仲介を行う。 【課題】 近年、集約化が進んでいることから、今後大規模な集約化は望めない。
農商工バランスのとれた土地利用の維持										
【新規】 町内企業の規模拡大や企業誘致への積極的支援 (庁内連携)	新市街地「みなくるタウン」をはじめとする市街化編入を目指す区域を中心に、事業拡大により拠点が点在する町内事業所の用地集積や、町外からの企業誘致を促進し、必要な支援を把握、補助制度を実施する。			制度 検討			●創設	【取組】 企業の動向や支援ニーズを把握しながら補助制度の検討を行う。 【課題】 補助要件に該当する業種や補助内容の検討。	【実績】 ・補助制度の検討	【取組】 企業の動向や支援ニーズを把握しながら補助制度を創設する。 【課題】 補助要件に該当する業種や補助内容の検討。
【新規】 約600年の伝統を誇るブランド苗「淀苗」への支援	伝統を誇る「淀苗」生産者に対し、情報発信、販路拡大や生産技術の向上などに向けた支援を行い、「淀苗」産地の維持・向上を図る。						ブランド強化策検討	【取組】 淀苗生産農家のヒアリングを行い、効果的な支援の方法を検討する。 【課題】 淀苗は主に、農家用に生産されているため、一般消費者向けのPRに課題がある。	【実績】 ・ブランド強化策検討	【取組】 淀苗生産農家のヒアリングを行い、効果的な支援の方法を検討する。 【課題】 淀苗は主に、農家用に生産されているため、一般消費者向けのPRに課題がある。

産業振興計画	アクションプラン	R2	R3	R4	R5	R6	令和4年度の取組・課題	令和4年度の実績	令和5年度の取組・課題
【新規】 生涯産業としての農業の展開	生涯現役で農業を続けてもらうため、定年帰農者に対する基礎研修や、若手農業者に対する講習会等を開催し、安心・安全な「農業」の維持・向上を図る。		内容検討 予算	講習・研修会の開催 1回	2回	2回	【取組】 定年帰農者をはじめ高齢農業者を対象とした農業の基礎をテーマとした研修や、小規模農家を対象に環境にやさしい農業やICTなどを活用したスマート農業をテーマとした研修等の開催。 【課題】 生涯現役で農業を続けていくために、幅広い世代への生産環境の整備や体力面や安全面をサポートする取組が必要。	【実績】 ・研修の実施 1回	【取組】 定年帰農者をはじめ高齢農業者を対象とした農業の基礎をテーマとした研修や、小規模農家を対象に環境にやさしい農業やICTなどを活用したスマート農業をテーマとした研修等の開催。 【課題】 生涯現役で農業を続けていくために、幅広い世代への生産環境の整備や体力面や安全面をサポートする取組が必要。
【新規】 食品関連企業(誘致を含む)と連携した農業経営の推進によるまちの6次産業化 (庁内連携)	食品関連企業と連携し、新たな品目へのチャレンジや、新たな商品開発などにより、所得の向上や雇用の促進など、6次産業化を推進する。		連携する仕組みを検討		予算		【取組】 みなくるタウンに食品関連企業が進出する場合の、農業との連携の仕組みを検討する。 【課題】 実際に当該地で事業者が操業するまでには、相当の時間を要する。	【実績】 ・連携する仕組みを検討	【取組】 みなくるタウンに食品関連企業が進出する場合の、農業との連携の仕組みを検討する。 【課題】 実際に当該地で事業者が操業するまでには、相当の時間を要する。
<継続> 住工混在がない優良地や良好な農業環境の維持 (庁内連携)	住居地域、工業地域、農業地域とそれぞれ混在のない土地利用を継続・維持する。		農業環境の維持				【取組】 久御山町都市計画マスタープランに基づき将来を見据えた土地利用を図り、自然を活かした農業環境を維持する。 【課題】 農業環境を維持するために必要な農業施設の老朽化への対応が必要。	【実績】 ・農業環境の維持	【取組】 久御山町都市計画マスタープランに基づき将来を見据えた土地利用を図り、自然を活かした農業環境を維持する。 【課題】 農業環境を維持するために必要な農業施設の老朽化への対応が必要。
交通									
久御山町地域公共交通網形成計画に基づく就業者への公共交通の利便性の確保									
【新規】 公共交通等の利活用に関する事業者間の意見交換 (庁内連携)	町内事業者が公共交通のことを知り、有効に利活用するため、事業者間でワークショップを行う。		ワークショップの開催 0回	0回	1回	1回	【取組】 路線バスの通勤利用促進のため、モビリティ・マネジメントを実施。 【課題】 事業所に勤務する従業員に対し、町内の公共交通ルートなどの周知が必要。	【実績】 ・コロナ禍もあり、事業者間との意見交換は実施していない。	【取組】 路線バスの通勤利用促進のため、モビリティ・マネジメントを実施。 【課題】 事業所に勤務する従業員に対し、町内の公共交通ルートなどの周知が必要。
【新規】 通勤MM(モビリティ・マネジメント)や町内の事業者を来訪する方に向けたPRの実施 (庁内連携)	町内の事業所に通勤する方の地域公共交通の利用促進と、来訪者へのPRのため、地域公共交通に関するチラシ配布やホームページでアクセス手段の周知を行う。		地域公共交通チラシ配布				【取組】 住民の意識醸成を図るため、モビリティ・マネジメントを実施。 【課題】 住民に対し、公共交通に関する周知が必要。	【実績】 ・クロスピアくみやまで開催されたクロスピア市で、バス事業者のイベントと併せて、町として、公共交通における情報発信を行った。	【取組】 町内の主要な公共施設にパンフレットを配架するなど、引き続き、公共交通に関する情報発信を行う。 【課題】 引き続き、住民に対して公共交通に関する周知が必要。

産業振興計画	アクションプラン	R2	R3	R4	R5	R6	令和4年度の取組・課題	令和4年度の実績	令和5年度の取組・課題
【新規】 自動車・自転車とバスが乗り継ぎやすい環境整備 (庁内連携)	地域公共交通の利用頻度増加と自動車利用減少による交通渋滞緩和のため、レンタサイクルの利用促進を進め、パーク&バスライドの促進に向けたPRを行う。						【取組】 事業所等に対してレンタサイクルの利用促進とパーク&バスライドに関するPR。 【課題】 自動車の利用が多いため、慢性的な交通渋滞が発生している。また、パーク&バスライドの促進には大規模な駐車場が必要。	【実績】 ・クロスビークみやまにおいて、レンタサイクルの利用促進を図っている。	【取組】 引き続き、クロスビークみやまにおいて、レンタサイクルの利用促進を図っていく。 【課題】 町内の幹線道路については、自動車の利用が多いため、朝夕を中心に交通渋滞が発生していることから、レンタサイクルの利用促進は交通量の削減に効果的と考える。また、パーク&バスライドを進めるには大規模な用地が必要であるため、現時点では難しいと考える。
【拡充】 バス事業者の協力により、クロスビークみやまのバスターミナルの機能充実 (庁内連携)	地域公共交通への関心を高め利用頻度を増加させるため、バスターミナルの通路に路線バスの行先等を表示した路面標示を施し、バスロケーションシステムを設置する。						【取組】 クロスビークみやまバスターミナルに路線バスの行き先を示した路面標示を行う。 【課題】 誰もが使いやすい地域公共交通実現のため、安心して乗換ができるよう環境整備を検討する必要がある。	【実績】 ・バス事業者の協力により、クロスビークみやまのバスターミナルの通路に、路線バスの行先等を標記した路面標示を行った。	【取組】 現時点では、概ね機能充実が図れているものと考えている。 【課題】 今後とも、利用者に快適にバスターミナルを利用していただくために、改善点があれば必要に応じて検討していくこととする。
事業者の経営力の向上									
事業者の経営基盤の向上を支援する									
【新規】 ☆重点 自社の強みに気づき、経営力の強化につながる機会創出や認証等へのソフト支援	従業員や後継者を対象に、自社の強みに気づき、それを伸ばすことにつながるDX関係や、ウィズコロナ・アフターコロナを意識したセミナー等を開催し、経営力の向上を図る。併せて、認証取得にかかるとなる情報提供に努める。						【取組】 セミナーを開催する。 【課題】 自社の強みに気づいた事業者へソフト支援を検討する必要がある。	【実績】 ・セミナーの開催 3回	【取組】 セミナーを開催する。 【課題】 自社の強みに気づいた事業者へソフト支援を検討する必要がある。
【新規】 ☆重点 Society5.0やSDGsを見据え、経営段階に応じた生産性を向上(AI、IoT化、キャッシュレス化等)するための機械や生産管理システム等への活用研修や導入のバックアップ	中小企業等経営強化法に基づき企業等が作成する「先端設備等導入計画」を適切に認定し、労働生産性の向上を促す。また、省力化・精密化により高品質生産等を可能にするスマート農業も推進する。						【取組】 先端設備等導入計画の適切な認定及びがんばる農家応援事業(スマート農業)補助を実施する。 【課題】 先端設備やスマート農業の導入には多額の費用が必要となる。	【実績】 ・先端設備等導入計画認定件数 15件 ・がんばる農家応援事業(スマート農業)補助件数 2件	【取組】 先端設備等導入計画の適切な認定及びがんばる農家応援事業(スマート農業)補助を実施する。 【課題】 先端設備やスマート農業の導入には多額の費用が必要となる。
【新規】 久御山町地域経済牽引事業に基づく固定資産税の減免措置等の支援 (庁内連携)	「地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律」による本町の基本計画に基づき、固定資産税の減免措置を行う。						【取組】 同計画に基づき、措置の制度を整備する。 【課題】 関連条例等の整備が必要である。	【実績】 ・制度内容の検討	【取組】 同計画に基づき、固定資産税の不均一課税制度を整備する。 【課題】 関連条例等の整備が必要である。
【新規】 事業を持続するためのBCP(事業継続計画)対策や環境に配慮した経営の啓発	男女共同参画等の視点を加えた久御山版BCPを示すとともに、BCP対策や町の環境基本条例や環境基本計画に沿った環境に配慮した経営について、町商工会と連携し、DMやパンフレット、広報等において啓発を行う。						【取組】 専門家等の意見を取り入れ、啓発内容及び方策の検討をする。 【課題】 制度内容の研究が必要。	【実績】 ・啓発内容等の検討	【取組】 専門家等の意見を取り入れ、啓発内容及び方策の検討をする。 【課題】 制度内容の研究が必要。

産業振興計画	アクションプラン	R2	R3	R4	R5	R6	令和4年度の取組・課題	令和4年度の実績	令和5年度の取組・課題	
<p><継続> 企業立地マッチング促進事業の継続及び拡充 (庁内連携)</p>	<p>既存の企業立地マッチング促進事業の内容に加え、「みなくるタウン」の整備と連携し、企業集積と誘致を積極的に行う。また、全日本不動産協会や京都府宅建協会からの情報のみならず、府の用地バンクの活用や町内見回り等、積極的に用地に関する情報を収集する。</p>						<p>【取組】 既存事業の継続及び積極的な情報収集を行う。</p> <p>【課題】 全日本不動産協会等以外の情報の収集が必要となる。</p>	<p>【実績】 ・企業立地マッチング情報提供件数 4件</p>	<p>【取組】 既存事業の継続及び積極的な情報収集を行う。</p> <p>【課題】 全日本不動産協会等以外の情報の収集が必要となる。</p>	
		企業立地マッチングの情報提供								

久御山町第2期産業振興計画 アクションプラン

(2)情報発信強化

KPI (重要業績指標)	当初(令和2年度)	実績(令和4年度)	目標年(令和6年度)
クロスビアクみやまホームページアクセス数	26,521件	36,117件	30,000件
くみやま夢タワー137ロゴマーク活用件数(延べ)	5件	28件	55件

産業振興計画	アクションプラン	R2	R3	R4	R5	R6	令和4年度の実績	令和5年度の実績	令和6年度の実績
産業情報の積極的な発信・ブランド化の推進									
オール久御山のシティプロモーション									
【新規】 ☆重点 住民や事業者による オール久御山のシティ プロモーションによるもの づくりの苗畑のイメージ 定着とブランド化	苗畑ロゴマークを活用し、広報等を通じて広く啓発することで住民の意識を醸成するとともに、事業者においても展示会等を通じて広くPRすることで、内外に向けて定着を図り、オール久御山によるシティプロモーションでブランド化を目指す。			産業売込み隊活動			【取組】 産業売込み隊の活動を周知することで、オール久御山の意識の醸成を図る。 【課題】 ウィズコロナにおける効果的な内容を検討する必要がある。	【実績】 ・産業売込み隊による活動 メッセナゴヤ2022出展 オンラインによる展示会出展 マルシェ出展による農産物販売 等	【取組】 産業売込み隊の活動を周知することで、オール久御山の意識の醸成を図る。 【課題】 ウィズコロナにおける効果的な内容を検討する必要がある。
くみやま夢タワー137 ロゴマークを住民や事業者等が活用できる仕組みづくりと知名度の向上	久御山の知名度向上を狙い、住民・事業者等がロゴマークを広く利用する意識を醸成するとともに、助成制度等、活用の仕組みづくりを創設する。	●制度化 助成制度等の検討		ロゴマークの活用			【取組】 ロゴマークを活用した名刺やチラシにかかる費用の一部を助成する。売り込み隊で使用する備品を整備する。 【課題】 ウィズコロナにおいても効果的かつ継続的に取り組むことができる内容を検討する必要がある。	【実績】 ・ロゴマーク活用補助 4件 ・売込み隊備品の整備	【取組】 ロゴマークを活用した名刺やチラシにかかる費用の一部を助成する。売り込み隊で使用する備品を整備する。 【課題】 ウィズコロナにおいても効果的かつ継続的に取り組むことができる内容を検討する必要がある。
産業売込み隊による産業情報発信の強化	事業者が参加する展示会等への参加を支援するとともに、活用できる啓発グッズ・備品等を整備し、情報発信力の強化を図る。	●制度化 助成制度等の検討		展示会の出展助成			【取組】 展示会への出展費用の一部を助成するとともに、活用できる備品を整備する。 【課題】 ウィズコロナにおいても効果的かつ継続的に取り組むことができる内容を検討する必要がある。	【実績】 ・メッセナゴヤ2022出展 4社 ・売込み隊備品の整備	【取組】 展示会への出展費用の一部を助成するとともに、活用できる備品を整備する。 【課題】 ウィズコロナにおいても効果的かつ継続的に取り組むことができる内容を検討する必要がある。
特色のある農業情報の発信									
【新規】 ☆重点 農業者の情報がわかる ホームページの作成及び 充実に向けた支援	農業者の情報を町内外に向けて発信するために、クロスビアクみやまのホームページ内に新たに農業者を紹介するコーナーを作成してPRを図る。	●制度化 掲載内容の検討・ヒアリング		HP公開			【取組】 HP掲載内容を周知し、掲載件数の増加を図る。 【課題】 クロスビアクみやまホームページの閲覧数の増加を図る必要がある。	【実績】 ・ホームページ掲載内容の周知	【取組】 HP掲載内容を周知し、掲載件数の増加を図る。 【課題】 クロスビアクみやまホームページの閲覧数の増加を図る必要がある。

産業振興計画	アクションプラン	R2	R3	R4	R5	R6	令和4年度の取組・課題	令和4年度の実績	令和5年度の取組・課題
【新規】 ☆重点 安心安全な農業生産 (GAP等)の推進	食品安全、環境保全、労働安全などの持続可能性を確保するための生産工程管理の取組(GAP)を推進して、競争力の強化、品質向上、農業経営の改善や効率化を図る。			支援内容 の検討	予算化	支援の実施	【取組】 GAP認証取得を推進するために、農業者への支援内容を検討。 【課題】 ここ最近GAPの取組は進んでいるが、GAP認証の取得は一部の農業者に限られている。	【実績】 ・支援内容の検討	【取組】 GAP認証取得を推進するために、農業者への支援内容を検討。 【課題】 ここ最近GAPの取組は進んでいるが、GAP認証の取得は一部の農業者に限られている。
町の戦略的パブリシティ活動の充実									
【新規】 町の公式Instagramや クロスピアFacebookな どのSNSを活用した情 報発信 (庁内連携)	SNSを活用し積極的に情報発信するとともに、広くみやまに創設する産業コーナーの情報をSNSでも発信し、町内外に情報を届ける。		SNSでの 情報発信・内容検討			●制度化 広くみやまの 産業コーナーを SNSで発信	【取組】 SNSの登録者数を増加させるための取組の検討。 【課題】 情報発信力はSNSの登録者数によるところが大きいため、登録者数の増加を図る必要がある。	【実績】 ・内容検討	【取組】 単にSNSの登録者数を増加させるための取組をするだけでなく、誰をターゲットにどのような情報を発信するのかを見極めて情報発信を行う。 【課題】 情報発信力はSNSの登録者数によるところが大きいため、登録者数の増加を図る必要がある。
【新規】 報道機関を活用した町 内産業の発信	久御山町産業大使を任命し、町内で積極的に活動する企業や農業者の情報を発信するとともに、クロスピアくみやまのホームページを活用し旬の情報を流すことで、報道機関への掲載機会の増加を図る。		情報提供の 仕組みを検討	●制度化		報道機関に 情報提供	【取組】 (仮称)産業大使を制度化し町内産業の情報発信を図るとともに、クロスピアくみやまホームページの活用方法を検討する。 【課題】 今まで、あまり外向けに情報発信していない事業者の掲載が望ましい。	【実績】 ・産業大使を制度化 ・クロスピアくみやまホームページ活用方法検討	【取組】 産業大使を活用し町内産業や実施するセミナー情報などの情報発信を図るとともに、クロスピアくみやまホームページの活用方法を検討する。 【課題】 今まで、あまり外向けに情報発信していない事業者の掲載が望ましい。
【新規】 広報くみやまの産業 コーナーの創設 (庁内連携)	広報くみやまに産業のコーナーを新たに設けて、積極的に活動する町内企業や農業者の記事を定期的に掲載することで、町内産業全体の意識の高揚を図る。		広報掲載 内容の検討			●制度化 広報掲載	【取組】 掲載内容の検討、企業、農業者への取材を行う。 【課題】 今まで、あまり外向けに情報発信していない事業者の掲載が望ましい。	【実績】 ・掲載内容の検討	【取組】 掲載内容の検討、企業、農業者への取材を行う。 【課題】 今まで、あまり外向けに情報発信していない事業者の掲載が望ましい。
<継続> クロスピアくみやまホ ムページの企業デー タベースの登録数の充 実	クロスピアくみやまホームページの企業登録数を充実させ、独自情報の掲載を検討することでホームページ閲覧数の増加を狙い、情報発信力の強化を図る。		チラシの作成			チラシの配布 ・新規登録	【取組】 関係機関と連携し、登録を促すチラシを作成して配布する。 【課題】 ホームページの閲覧数を増やすために登録数の充実が必要。	【実績】 ・周知内容の検討	【取組】 クロスピアくみやまホームページの機能の充実を図るとともに、関係機関と連携し、登録を促すチラシを作成して配布する。 【課題】 ホームページの閲覧数を増やすために登録数の充実が必要。
自社PR力の強化									
【新規】 ☆重点 自社の強みに気づき、 発信力の強化につな がる継続的なセミナー の開催	従業員や後継者を対象に、自社の強みに気づき、それを伸ばすことにつながるDX関係や、ウィズコロナ・アフターコロナを意識したセミナー等を開催し、発信力の強化を図る。		セミナーの 内容を検討			3回 3回 3回	【取組】 自社の強みを伸ばすとともに、ウィズコロナを意識したセミナーを開催する。 【課題】 自社の強みに気付くだけでは無く、情報発信とは何かを知る必要がある。	【実績】 ・セミナーの開催 3回	【取組】 自社の強みを伸ばすとともに、ウィズコロナを意識したセミナーを開催する。 【課題】 自社の強みに気付くだけでは無く、情報発信とは何かを知る必要がある。

産業振興計画	アクションプラン	R2	R3	R4	R5	R6	令和4年度の取組・課題	令和4年度の実績	令和5年度の取組・課題
【新規】 ☆重点 ホームページ充実のための支援	ホームページの開設や拡充、見せ方等の支援をすることで、自社PRに欠かせないホームページの充実を図る。併せて、最新の情報を発信するため、更新できる力を身につける取組に支援する。	内容を検討		支援を実施		検証	【取組】 ホームページリニューアル補助金による支援を実施する。 【課題】 ホームページを充実させた後、そのページに誘導するための取組が必要。	【実績】 ・ホームページリニューアル補助金 6件	【取組】 ホームページリニューアル補助金による支援を実施する。 【課題】 ホームページを充実させた後、そのページに誘導するための取組が必要。
<継続> 展示会出展支援助成事業による販路拡大・取引先拡大への支援	町内の中小企業者が展示会等に出展する経費の一部を助成することで、ものづくりのまち久御山を広くPRする。	1社	0社	5社	6社	6社	【取組】 公的機関等が開催する展示会等へ出展する経費の一部を助成する。 【課題】 アフターコロナを見据えた出展企業の発掘は必要。	【実績】 ・展示会出展助成 5件	【取組】 公的機関等が開催する展示会等へ出展する経費の一部を助成する。 【課題】 アフターコロナを見据えた出展企業の発掘は必要。

久御山町第2期産業振興計画 アクションプラン

(3)連携・交流の強化

KPI (重要業績指標)	当初(令和2年度)	実績(令和4年度)	目標年(令和6年度)
クロスビアカみやま来館者数	40,552人	34,607人	80,000人
資材等の町内調達率	15.3%(令和元年度)	15.3%(令和元年度)	18%

産業振興計画	アクションプラン	R2	R3	R4	R5	R6	令和4年度の取組・課題	令和4年度の実績	令和5年度の取組・課題
町内事業者間の連携									
町内事業者間の連携強化									
【新規】 町内事業者のビジネス商談会、展示会の開催	クロスビアや久御山町役場等を拠点に、久御山町産業売込み隊と連携し、町内事業者間のビジネス商談会や展示会を開催する。			実施可否・内容検討	予算化	実施	【取組】 関係機関と連携し、既に実施されているビジネスフェアと違いを出し、町内産業のニーズに見合う実施内容を検討する。 【課題】 需要の把握が必要。	【実績】 ・可能性検討	【取組】 関係機関と連携し、既に実施されているビジネスフェアと違いを出し、町内産業のニーズに見合う実施内容を検討する。 【課題】 需要の把握が必要。
【新規】 食品関連企業(誘致を含む)と連携した農業経営の推進によるまちの6次産業化(再掲) (庁内連携)	食品関連企業と連携し、新たな品目へのチャレンジや、新たな商品開発などにより、所得の向上や雇用の促進など、6次産業化を推進する。(再掲)			連携する仕組みを検討	予算化	実施	【取組】(再掲) みなくるタウンに食品関連企業が進出する場合の、農業との連携の仕組みを検討する。 【課題】(再掲) 実際に当該地で事業者が操業するまでには、相当の時間を要する。	【実績】 ・仕組みを検討	【取組】(再掲) みなくるタウンに食品関連企業が進出する場合の、農業との連携の仕組みを検討する。 【課題】(再掲) 実際に当該地で事業者が操業するまでには、相当の時間を要する。
『拡充』 同業種、異業種間の交流の創出、連携強化	久御山町産業売込み隊と連携し、町内事業者間連携が深まるよう、同業種・異業種の交流の場を創出。			実施可否・内容検討	予算化	1回 1回	【取組】 クロスビアくみやまを会場にしての開催手法を検討する。 【課題】 ウィズコロナでの集客。	【実績】 ・実施内容の検討	【取組】 クロスビアくみやまを会場にしての交流会を開催する。 【課題】 ウィズコロナでの集客。
『拡充』 産業振興コーディネーターと商工業者との連携強化、雇用創出	就域ディレクターを活用した雇用創出、人材確保への取組を実施する。			会社説明会運営手法の検討	会社説明会の再開・実施	1回 6回 6回 12回	【取組】 Web会社説明会に加え、リアルでの会社説明会を再開する。 【課題】 需要の把握。	【実績】 ・リアル会社説明会 2回 ・企業見学バスツアー 4回	【取組】 リアルでの会社説明会や企業見学ツアーを実施する。 【課題】 需要の把握。
『拡充』 コーディネーター(農業・商工業)からの施策の情報発信力強化	農地集積コーディネーターが農業者からの情報収集を積極的に行い、また、就域ディレクターの活動を中心に事業者のニーズを的確に把握し、それぞれが必要な情報を適時に発信できるよう努める。			情報の受発信			【取組】 既存の取組を継続するとともに、さらなる情報収集に努める。 【課題】 それぞれのニーズの的確な把握。	【実績】 ・情報の受発信	【取組】 既存の取組を継続するとともに、情報発信スキル向上のためのSNSセミナーを実施するなど、さらなる情報収集に努める。 【課題】 それぞれのニーズの的確な把握。

産業振興計画	アクションプラン	R2	R3	R4	R5	R6	令和4年度の取組・課題	令和4年度の実績	令和5年度の取組・課題
<継続> 若手経営者等から構成される団体の活動の活性化	C-AMPや野菜出荷組合等、若手経営者が組織する団体と町の交流・情報交換等を実施し、相互の活性化を図る。			交流の継続			【取組】 会議委員や研修講師の相互の起用を継続。 【課題】 将来的な構成員不足が懸念される。	【実績】 ・会議委員への起用や情報交換の実施	【取組】 会議委員や研修講師の相互の起用を継続。 【課題】 将来的な構成員不足が懸念される。
<継続> 安定した農産物の生産・販売のための共同（協同）を行う団体等への支援	京野菜を生産する複数の農業者が、安定供給を確保するため、共同（協同）で出荷・販売をするなど、農業経営の安定を図っている団体等に向けて支援を図る。			補助事業等の実施			【取組】 農業振興施策事業（補助）を実施することで農業生産・販売についての支援を続ける。 【課題】 時代とともに変化する環境や、農業経営の手法について、現状と将来を見据えた施策を常に検討することが重要である。	【実績】 ・補助事業の実施	【取組】 農業振興施策事業（補助）を実施することで農業生産・販売についての支援を続ける。 【課題】 時代とともに変化する環境や、農業経営の手法について、現状と将来を見据えた施策を常に検討することが重要である。
産業情報発信拠点を活かした連携、交流の強化									
『拡充』 クロスピアくみやまを活用した商談会や交流会	商談会や交流会のためにクロスピアくみやまの交流室を広く一般に貸し出し、今後においても積極的に広報に努め、利用率の向上を図る。			チラシやホームページで周知・広報			【取組】 クロスピアくみやまの貸し出しについてチラシやホームページで周知する。 【課題】 クロスピアくみやまの認知度を向上させる必要がある。	【実績】 ・交流室の貸し出し及び周知、広報	【取組】 クロスピアくみやまの貸し出しについてチラシやホームページで周知する。 【課題】 クロスピアくみやまの認知度を向上させる必要がある。
『拡充』 コーディネーターによるメーリングリストの充実や町政情報の発信強化	クロスピアくみやまホームページに登録されている企業を中心にメーリングリストを作成し、それを基に町政情報や支援施策を定期的に発信する。町商工会や久御山町産業完込み隊とも連携を図る。			メーリングリストを活用し情報を発信			【取組】 町商工会とも連携し、情報の共有化、発信強化を図る。 【課題】 商工会員とクロスピア登録の両方を満たす企業への情報の取捨選択や、非会員の扱い。	【実績】 ・メーリングリストによる情報発信	【取組】 町商工会とも連携し、情報の共有化、発信強化を図る。 【課題】 商工会員とクロスピア登録の両方を満たす企業への情報の取捨選択や、非会員の扱い。
<継続> クロスピアくみやまホームページの企業データベースの登録数の充実（再掲）	クロスピアくみやまホームページの企業登録数を充実させ、独自情報の掲載を検討することでホームページ閲覧数の増加を狙い、情報発信力の強化を図る。（再掲）		チラシの作成	チラシの配布・新規登録			【取組】（再掲） 関係機関と連携し、登録を促すチラシを作成して配布する。 【課題】（再掲） ホームページの閲覧数を増やすために登録数の充実が必要。	【実績】 ・農業者情報の追加	【取組】（再掲） 関係機関と連携し、登録を促すチラシを作成して配布する。 【課題】（再掲） ホームページの閲覧数を増やすために登録数の充実が必要。

産業振興計画	アクションプラン	R2	R3	R4	R5	R6	令和4年度の取組・課題	令和4年度の実績	令和5年度の取組・課題
産業支援機関との連携									
産業支援機関との連携を図る									
【新規】 ☆重点 アクションプラン作成、実行の推進エンジンとしての産業振興プロジェクト(仮称)の設置	第2期産業振興計画を確実に実施していくために、具体的なアクションプランを作成する。併せて、実行の推進エンジンとしての産業振興プロジェクトの設置を行う。	プロジェクト、ワーキングチーム設置					【取組】 産業振興プロジェクト会議及びワーキングチーム会議を開催し、アクションプランのブラッシュアップを図る。 【課題】 ワーキングチーム会議での活発な議論が重要。	【実績】 ・産業振興プロジェクト会議及びワーキングチーム会議を設置し、アクションプランを作成	【取組】 産業振興プロジェクト会議及びワーキングチーム会議を開催し、アクションプランのブラッシュアップを図る。 【課題】 ワーキングチーム会議での活発な議論が重要。
『拡充』 ☆重点 行政、関係機関と連携した情報共有のための体制づくりと情報共有	産業振興プロジェクトとワーキングチームの会議を定期的に行うことで情報共有を図る。	プロジェクト、ワーキングチーム設置					【取組】 産業振興プロジェクト会議及びワーキングチーム会議を開催し、関係機関との情報共有を図る。 【課題】 情報共有で終わること無く、新たな施策へつなげていくことが重要。	【実績】 ・産業振興プロジェクト会議及びワーキングチーム会議を設置	【取組】 産業振興プロジェクト会議及びワーキングチーム会議を開催し、関係機関との情報共有を図る。 【課題】 情報共有で終わること無く、新たな施策へつなげていくことが重要。
『拡充』 地元大学や高校等との連携	町内事業者のこを知らせてもらうため、地元の大学と高校、町が連携を図り、事業者の見学を行い、将来の人材確保につなげる。						【取組】 山城地域の高校・大学と連携し、町内事業者の見学ツアーを実施する。 【課題】 受入事業者の選定・確保、学生・生徒等の集客。	【実績】 ・見学ツアー実施 1回	【取組】 山城地域の高校・大学と連携し、町内事業者の見学ツアーを実施し、学生が企業の実態を肌で感じられるよう、社員と学生が直接対話できる時間を十分に確保する。 【課題】 受入事業者の選定・確保、学生・生徒等の集客。
近隣自治体との連携									
<継続> 近隣自治体と連携した会社説明会や交流会、展示会の開催	これまで、支援機関や近隣自治体と連携した会社説明会を行ってきたが、さらに交流会や展示会の開催等、連携の幅を広げる。						【取組】 これまで行ってきた会社説明会だけでなく、将来的に、近隣自治体と連携した他の取組についても検討する。 【課題】 ウィズコロナでの開催の手法を検討する必要がある。	【実績】 ・取組内容の検討	【取組】 これまで行ってきた会社説明会だけでなく、将来的に、近隣自治体と連携した他の取組についても検討する。 【課題】 ウィズコロナで、零細企業が参加しやすい開催の手法を検討する必要がある。
<継続> 近隣自治体との情報交換	近隣自治体と申し合わせ、同じスキームで行っている施策があるが、その他の情報についても共有を図り、事業者の支援につなげる。						【取組】 各種担当者会議を活用し、意見交換を行う。 【課題】 情報を生きたものとし、形にすることが必要。	【実績】 ・担当者会議での意見交換	【取組】 各種担当者会議を活用し、意見交換を行う。 【課題】 情報を生きたものとし、形にすることが必要。

久御山町第2期産業振興計画 アクションプラン

(4)人材・後継者育成

KPI (重要業績指標)	当初(令和2年度)	実績(令和4年度)	目標年(令和6年度)
会社説明会による採用者数(延べ)	41人	53人	91人
人材・後継者育成に資する各種セミナー等の参加者数	32人	39人	50人

産業振興計画	アクションプラン	R2	R3	R4	R5	R6	令和4年度の取組・課題	令和4年度の実績	令和5年度の取組・課題	
地元出身者、学生の人材確保										
若者をはじめとした求職者や学生に地域の魅力を伝え、地域への就職を地域が一丸となって取り組む「就域」による雇用の確保										
『拡充』 ☆重点 地元教育機関と連携した地元出身者への町内事業者を知る機会の創出	地元の大学・高校と連携し、事業者の見学事業を行っているが、WEBを活用する等、新たに視察を受け入れられる事業者を掘り起こし、将来的な人材確保につなげる。		1回	1回	2回	2回	【取組】 山城地域の高校・大学と連携し、町内事業者の見学ツアーを実施する。併せて、新たな受入事業者を掘り起こす。 【課題】 見学を受け入れられる事業者が限られている。	【実績】 ・見学ツアー実施 1回	【取組】 山城地域の高校・大学と連携し、町内事業者の見学ツアーを実施し、学生が企業の実態を肌で感じられるよう、社員と学生が直接対話できる時間を十分に確保する。 併せて、新たな受入事業者を掘り起こす。 【課題】 見学を受け入れられる事業者が限られている。	
【新規】 シニア層や業種転換などの幅広い人材を確保するための積極的な雇用の推進	久御山町産業売込み隊、町商工会、ハローワーク等と連携し、層を絞った会社説明会を開催する。	会社説明会運営手法の検討		1回	6回	6回	12回	【取組】 就域ディレクターの活動とも連携し、ターゲット層を選定。ウィズコロナでも開催できる会社説明会を検討・実施。 【課題】 参加企業及び求職者の集客。	【実績】 ・リアル会社説明会 2回 ・企業見学バスツアー 4回	【取組】 就域ディレクターの活動とも連携し、ターゲット層を選定。ウィズコロナでも開催できる会社説明会を検討・実施。 【課題】 参加企業及び求職者の集客。
<継続> 近隣自治体間連携を通じた広域的な合同会社説明会の開催による人材の確保	本町の求人倍率は依然として高いことから、ウィズコロナにおける広域的な会社説明会の実施手法を検討し、人材の確保を図る。	会社説明会運営手法の検討		1回	6回	6回	12回	【取組】 ウィズコロナにおける広域的な会社説明会の実施手法の検討。 【課題】 参加企業及び求職者の集客。	【実績】 ・リアル会社説明会 2回 ・企業見学バスツアー 4回	【取組】 ウィズコロナにおける広域的な会社説明会の実施手法の検討。 【課題】 参加企業及び求職者の集客。
『就域』活動のサテライトオフィスとしてのクロスピアくみやまの機能向上										
【新規】 ☆重点 クロスピアくみやまホームページに掲載し、事業者の人材確保を支援する。	クロスピアくみやまホームページに掲載し、事業者の人材確保を支援する。	掲載内容の検討					【取組】 クロスピアくみやまホームページへの求人情報の掲載。 【課題】 クロスピアくみやまホームページの閲覧数の増加を図る必要がある。	【実績】 ・求人情報掲載数 6社	【取組】 クロスピアくみやまホームページへのより充実した求人情報の掲載。 【課題】 クロスピアくみやまホームページの閲覧数の増加を図る必要がある。	
【新規】 ハローワークや関係機関と連携した就域マッチングの創出	就域ディレクターの活動を中心に、ハローワークやポリテクセンター、高等技術専門学校等関係機関と情報共有し、求人と求職者のマッチングを行う。	会社説明会運営手法の検討		1回	6回	6回	12回	【取組】 リアル会社説明会の再開及びWeb会社説明会の実施。 【課題】 参加企業及び求職者の集客。	【実績】 ・リアル会社説明会 1回 ・企業見学バスツアー 4回	【取組】 リアル会社説明会及びWeb会社説明会の実施。 【課題】 参加企業及び求職者の集客。

産業振興計画	アクションプラン	R2	R3	R4	R5	R6	令和4年度の取組・課題	令和4年度の実績	令和5年度の取組・課題		
後継者確保や魅力的な職場づくり											
経営者や後継者に対するセミナーの開催											
【新規】 コーディネーター（農業・商工業）が関連機関と連携し、経営力の強化につながるセミナーの開催	就域ディレクター等の活動を中心に、久御山町産業売込み隊等関係機関と連携し、決算書の読み方等の財務に関することや売上獲得のための対策等、経営力の強化につながるセミナー・勉強会等を開催する。	勉強会内容の検討		勉強会の開催		2回	3回	2回	2回	【取組】 就域ディレクターの活動と協調し、勉強会のテーマに経営力の強化につながる内容を盛り込む。 【課題】 ウィズコロナにおける勉強会の実施手法。	【実績】 ・セミナーの開催 3回 【課題】 ウィズコロナにおける実施手法。
<継続> 産業支援機関の実施するセミナー等の情報発信	経営者や後継者を支援するため、産業支援機関が実施するセミナー等の情報をクロスピアくみやまのホームページに掲載し周知を図るとともに、チラシ配架等を行う。	クロスピアくみやまホームページに掲載								【取組】 産業支援機関が実施するセミナーの情報を取得し、クロスピアくみやまのホームページに掲載する。 【課題】 クロスピアくみやまホームページの閲覧数の増加を図る必要がある。	【実績】 ・セミナー情報の掲載 【課題】 クロスピアくみやまホームページの閲覧数の増加を図る必要がある。
魅力的な職場づくりの推進											
【新規】 京都府ワーク・ライフ・バランス推進宣言企業、子育て環境日本一に向けた職場づくり行動宣言企業の拡充 (庁内連携)	働きやすい職場づくりを推進するため、庁内関係部署と連携することで各宣言の周知を図り、宣言企業数の増加を目指す。	取組の検討		庁内連携による実施		予算化				【取組】 宣言企業拡充に向けた取組を検討する。 【課題】 宣言をすることによるメリットを整理する必要がある。	【実績】 ・宣言企業拡充に向けた検討 【課題】 宣言企業数の増加につながる取組を検討する必要がある。
【新規】 先進的企業への視察研修の実施	魅力的な職場を推進するため、先進的企業を視察するツアーを開催する。視察内容は、現状に至るまでに何に苦労したかの視点を入れて選定する。	先進的企業の洗い出し・実施手法検討		視察の実施		予算化				【取組】 先進的企業の洗い出し。 【課題】 視察した後の取組についての支援も必要である。	【実績】 ・先進的企業の検討 【課題】 視察した後の取組についての支援も必要である。
【新規】 結婚、出産、子育てしやすい環境の整備 (庁内連携)	現役世代である20歳代、30歳代の働き手を確保するため、結婚、出産、子育てしやすい職場環境の推進を図る。	ワーク・ライフ・バランスの周知								【取組】 久御山町第2次男女共同参画プランに基づき、仕事と生活の調和の考え方の周知を図る。 【課題】 従業員の少ない中小企業であるほど、職場環境の整備が難しい。	【実績】 ・セミナー 4回 ・講演会 1回 【課題】 従業員の少ない中小企業であるほど、職場環境の整備が難しい。

久御山町第2期産業振興計画 アクションプラン

(5) 創業支援

KPI (重要業績指標)	当初(令和2年度)	実績(令和4年度)	目標年(令和6年度)
創業件数	1件	12件	15件
町内事業者の第二創業・事業承継成功事例収集数(延べ)	—	0件	10件

産業振興計画	アクションプラン	R2	R3	R4	R5	R6	令和4年度の取組・課題	令和4年度の実績	令和5年度の取組・課題
創業者に対するサポート体制を確立する									
	<p><継続> 創業支援ネットワーク「久御山チャレンジスクエア」のホームページを整理し周知を図るとともに、構成団体との連携を密にする。また、具体的な創業支援メニューを検討し、情報共有による創業希望者の課題解決を図る。</p>			●制度化			<p>【取組】 会議を複数回開催し、令和4年度創設の創業支援事業による補助を実施する。 【課題】 「久御山チャレンジスクエア」及び創業支援事業の周知方法を検討する必要がある。</p>	<p>【実績】 ・久御山チャレンジスクエア開催 5回 ・起業時補助金の創設 ・創業支援事業(ビジネスプランコンテスト補助金1件、創業融資利子補給補助金1件)</p>	<p>【取組】 会議を複数回開催し、令和4年度創設の創業支援事業による補助を実施する。 【課題】 「久御山チャレンジスクエア」及び創業支援事業の周知方法を検討する必要がある。</p>
	<p>【新規】 創業者へ環境に配慮した経営の啓発</p>						<p>【取組】 チラシを作成し、創業塾等で啓発を実施する。 【課題】 企業の目標設定が困難。</p>	<p>【実績】 ・啓発方法の検討</p>	<p>【取組】 チラシを作成し、創業塾等で啓発を実施する。 【課題】 企業の目標設定が困難。</p>
第二創業(事業承継)への支援									
	<p>【新規】 ☆重点 新たな事業活動となる第二創業や後継者への事業承継を円滑に行えるよう支援機関と連携したサポート体制の確立や成功事例の啓発</p>						<p>【取組】 支援機関と連携したサポート体制について検討し、成功事例を収集する。 【課題】 事業承継の円滑なタイミングや具体的な手続き等を周知する必要がある。</p>	<p>【実績】 ・サポート体制についての検討と成功事例集の収集</p>	<p>【取組】 支援機関と連携したサポート体制について検討し、成功事例を収集するとともに、事業承継に関するセミナーを実施する。 【課題】 事業承継の円滑なタイミングや具体的な手続き等を周知する必要がある。</p>
産業支援機関等との連携と情報共有									
	<p>『拡充』 行政、関係機関と連携した取引先のマッチング、立地や助成制度等の情報共有のための体制づくり</p>						<p>【取組】 会議の開催。チャレンジスクエアメンバーとも連携。 【課題】 メンバーの招集。広く集めるには日程や会場確保の問題がある。</p>	<p>【実績】 ・プロジェクト会議開催 1回 ・ワーキングチーム会議開催 2回</p>	<p>【取組】 会議を開催。チャレンジスクエアメンバーとも連携。 【課題】 メンバーの招集。広く集めるには日程や会場確保の問題がある。</p>

産業振興計画	アクションプラン	R2	R3	R4	R5	R6	令和4年度の取組・課題	令和4年度の実績	令和5年度の取組・課題
<p><継続> 定期的な情報交換の場の創出</p>	<p>産業支援機関の情報交換の場として、毎年産業振興プロジェクト会議、ワーキングチーム会議を開催し、情報の共有を図る。</p>		<p>プロジェクト、ワーキングチーム設置</p>	<p>プロジェクト、ワーキングチーム会議の開催</p>			<p>【取組】 産業振興プロジェクト会議及びワーキングチーム会議を開催し、アクションプランのブラッシュアップを図る。</p> <p>【課題】 情報を共有し、アクションプランを毎年ブラッシュアップしていく必要がある。</p>	<p>【実績】 ・プロジェクト会議開催 1回 ・ワーキングチーム会議開催 2回</p>	<p>【取組】 産業振興プロジェクト会議及びワーキングチーム会議を開催し、アクションプランのブラッシュアップを図る。</p> <p>【課題】 情報を共有し、アクションプランを毎年ブラッシュアップしていく必要がある。</p>
			5回	3回	4回	4回			

6 産業振興プロジェクト会議・産業振興ワーキングチーム会議

(1) 概要

本計画に掲げた方向性を実現するため、計画策定や様々な事業で協力関係を築いてきた産業支援機関や金融機関、京都府、有識者など、産業の各分野で活躍されている主体から構成される産業振興プロジェクト及び分野別のワーキングチームを設置し、アクションプランの作成や施策の立案をしました。

(2) 構成

メンバーは次のとおりです。

■産業振興プロジェクト委員（敬称略 五十音順）

氏名	役職	備考
阪井 雅智	京都久御山ものづくりC-AMP 代表	令和3年
迫田 隆	ハローワーク宇治 所長	令和3・4年
巽 健次	公益財団法人京都産業21市場開拓支援部 部長	令和3・4年
田中 秀和	久御山町商工会 副会長	令和3年～
中森 孝文	龍谷大学政策学部 教授	座長
西田 亮太	京都久御山ものづくりC-AMP 代表	令和4年～
西村 嘉高	京都府山城広域振興局農林商工部 部長	令和3年～
林 淳二	京都銀行久御山町支店 支店長	令和3年～
村田 正己	京都府農業法人経営者会議 会長（令和5年～） 久御山町農業委員会 委員（令和3・4年）	令和3年～
諸戸 秀樹	公益財団法人京都産業21市場開拓支援部 部長	令和5年～
山岡 正彦	ハローワーク宇治 所長	令和5年～
和田 和由	京都やましろ農業協同組合 常務理事	令和3年～

■産業振興ワーキングチーム委員 商工施策（敬称略 五十音順）

氏名	役職	備考
生田 陽介	京都銀行久御山町支店 営業課長	令和3年～
池田 圭一	ハローワーク宇治 統括職業指導官	令和4年
上田 益道	ハローワーク宇治 統括職業指導官	令和3年
鵜ノ口眞司	久御山町商工会 課長	令和3年～
浦 一良	京都府山城広域振興局農林商工部 農商工連携・推進課 主幹兼係長	令和4年
尾上 英之	ハローワーク宇治 統括職業指導官	令和5年～
齊藤 徹	株式会社アグティ 代表取締役	令和3年～
瀧本 浩志	京都府山城広域振興局農林商工部 農商工連携・推進課 主幹兼係長	令和5年～
諸戸 秀樹	京都府山城広域振興局農林商工部 農商工連携・推進課 主幹兼係長	令和3年
安田 知穂	プラスコート株式会社 代表取締役	令和3年～

■産業振興ワーキングチーム委員 農業施策（敬称略 五十音順）

氏名	役職	備考
生田 淳一	京都府山城広域振興局農林商工部 農商工連携・推進課 主幹兼係長	令和4年～
上田 訓行	京都やましる農業協同組合久御山町支店 営農経済課長	令和5年
上田 幸子	久御山町農業委員会 委員	令和3年～
桐木 隆夫	京都やましる農業協同組合久御山町支店 営農経済課長	令和3・4年
寺内 優介	農業者	令和3・4年
藤村 拓也	農業者	令和5年～
松本 瑠美	京都府山城広域振興局農林商工部 農商工連携・推進課 主幹兼係長	令和3年

(3) 開催経過

■令和5年度

会議名	開催年月日	議題
第1回ワーキングチーム会議	令和5年10月30日(月)	・アクションプランの更新について
第1回プロジェクト会議・ 第2回ワーキングチーム会議	令和5年11月20日(月)	・アクションプランの更新について

■令和4年度

会議名	開催年月日	議題
第1回ワーキングチーム会議	令和4年10月7日(金)	・アクションプランの更新について
第2回ワーキングチーム会議	令和4年10月14日(金)	・アクションプランの更新について
第1回プロジェクト会議	令和4年11月15日(火)	・アクションプランの更新について

■令和3年度

会議名	開催年月日	議題
第1回プロジェクト会議・ 第1回ワーキングチーム会議	令和3年6月10日(木)	・久御山町産業振興プロジェクトについて ・アクションプラン(素案)について
第2回ワーキングチーム会議	令和3年7月14日(水)	・アクションプランについて
第3回ワーキングチーム会議	令和3年7月26日(月)	・アクションプランについて
第2回プロジェクト会議	令和3年10月19日(火)	・アクションプランについて